

「ともにつくるミライ」

上下中学校区学校再配置推進委員会だより

NO.2

令和8年2月20日（金）

上下中学校区学校再配置推進委員会

（お問合せ）

事務局：府中市教育委員会

教育政策課 教育推進係

TEL（0847）44-9023

第2回上下中学校区学校再配置推進委員会を開催しました。

令和8年2月9日（月）14時から上下南小学校1階ランチルームにおいて、第2回上下中学校区学校再配置推進委員会を開催しました。12月市議会定例会における学校設置条例の改正案の可決、広報紙の発行、上下中学校区学校再配置推進委員会各部会の協議内容について報告した後、グループに分かれて、『どんな子供を育てたいか（目指す子供像）』をテーマに熟議を行いました。地域、学校、家庭それぞれで上下地域の子供たちの良いところ、課題など実態を出し合いながら、『目指す子供像』について共有することができました。

グループ協議・発表を行った後、推進委員会委員長の京都産業大学の西川信廣名誉教授から『目指す子供像』についてご講評いただくとともに、地域・学校・家庭がそれぞれ果たす役割についてご教示いただきました。

最後に学校再配置に伴い実施することとしている、児童や保護者の方の不安や心配、期待などの思いを聞き取るアンケートの調査項目、実施方法について協議を行いました。

今後、児童及び保護者へのアンケート結果を踏まえ、新しい学校づくりを進めてまいります。

【熟議テーマ】「どんな子供を育てたいか（目指す子供像）」

各グループで出た御意見

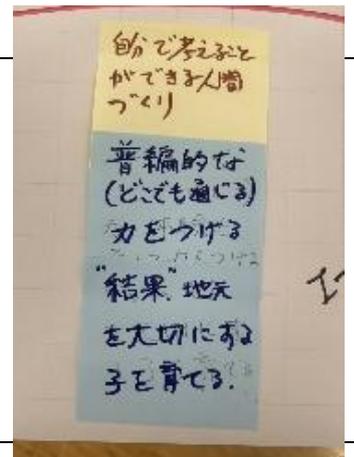


①グループ

- 自分を知ることで、自己解決することができる子供。
- 堂々と行動できる子を育成するために、自己肯定感を向上させることや子供の中でリーダーの育成をするなど、場の設定をすることが必要。
- たくさん大人の姿を見せることで、子供にとって大人が見本や憧れとなる。そのためは、CSの取組をより充実させることや保護者と地域がつながりをもてる仕組みが必要。
- 地域を知ることで、地元に戻ってきてくれる子供。

②グループ

- 上下だけでなく世界にも挑戦できる子供。
- 自分と違う考えをもつ人を排除することなく、認め合い、お互いに助けを求めることのできる子供。（協働の力をもつ子供。）
- 学校と地域のつながりによって、何かを生み出す創造性をもつ子供。
- 応用したり判断したりする際の見方・考え方をもつ子供。
- 人を大切にし、感謝の気持ちが言える子供。
- 自分のやりたいことや、ミライに夢がもてる子供。



発表の様子



③グループ

- 最後までやりきる粘り強さや頑張る気持ちをもつ子供。
- 自分のしたいことを見付けることや、自分で考え選ぶことのできる主体性のある子供。
- 好きなことを経験できる環境づくりが必要。
- 自分の言葉で伝える自己表現・自己実現（自立・自律）ができる子供。
- 相手のことを認め合い、敬うことのできる社会性をもった子供。

○京都産業大学 西川名誉教授の講評（要約）

この街（上下）の教育の強みは、「子供が多くの人に愛される経験ができること」にある。

子供は、愛された経験があるからこそ人を愛することができ、自己肯定感をもち、学びに向かう力を育てることができる。

人口減少や学校統合という課題はあるが、それは「出会いが増える」というチャンスでもある。人数が増えることは、子供も教師も、より多様な人と出会い、学び合う機会が広がる。

複式学級も一般的にはデメリットが語られるが、主体性が育つという側面もある。大切なのは人数や制度ではなく、「どんな力を育てるか」である。高校進学率は高いが、退学する子もいる。数字で示される学力だけでは、子供が生き抜く力にはならない。偏差値や塾による競争だけでは、本当の意味での「生きる力」は育たない。

これから学校で育てるべき力は、「自己肯定感」、「学ぶ意味を感じる力」、「多様な出会いから学ぶ力」、「地域やふるさとを愛する心」である。

『教師は「風」の存在であり、専門性をもって知識や技能を伝える。地域の人は「土」の存在であり、その学びを受けて豊かになり、子供を育てる。風と土が合わさって、子供は育つ』

コミュニティ・スクール（CS）はその要であり、地域が学校づくりに主体的に関わることで、子供に多様な出会いと本物の学びを提供できる。

学校が減ることはピンチだが、それをチャンスに変えることができる。義務教育学校など、新しい形も可能性としてある。この上下ならでできる。地域ぐるみで子供を愛し、支え、育てることができる。

愛された経験のある子供は、人を愛し、学びに向かい、社会で生きる力を身に付ける。

それが、この街の教育の目指す姿である。



アンケートの実施にご協力ください【実施期間：2月20日（金）～3月6日（金）】

学校再配置に伴う児童の思いや、保護者の皆様のご意見を聞き取るために、アンケートを実施します。

対象は上下北小、上下南小の児童及び保護者の皆様です。

回答されたアンケートにつきましては集約し、今後の取組に活用させていただきます。

なお、来年度も定期的にアンケート調査を実施し、児童の状況を把握してまいります。

アンケートについては、以下の方法でご回答できます。

（児童）^{グループ} Googleフォームから回答できます。

（保護者）お配りするアンケートの案内に記載されている QR コードから回答できます。

アンケートの回答期限は、3月6日（金）までとなっております

皆さまの忌避のないご意見をお聞かせください。よろしくお願いたします。



保護者はこちらから

【教育長メッセージ】

第1回再配置推進委員会後、各部会において協議を行い、その内容を推進委員会で共有しながら、新しい学校づくりに向けて歩みを進めております。第2回委員会では、令和9年4月の開校を見据え、「目指す子供像」について保護者や地域、学校それぞれの立場から多くのご意見をいただきました。協議の中で、地域の皆様の子供たちを思うあたたかいお気持ちがあふれていることを実感し、大変心強く感じております。

今後とも力を合わせ、子供たちのよりよい未来のために、一つ一つ着実に取り組んでまいります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



委員会・部会の開催予定

【生徒指導部会】 3月11日（水） 15:30～ 【第3回再配置推進委員会】 3月23日（月） 14:00～